



農地局

静岡県庁仕事スタディツアー【農業土木編】を開催！



9月20日（木）、農業土木に興味や関心、就職志望のある学生を対象とした現地見学会を開催しました。

中部農林事務所の職員とともに農業基盤整備の現場（清水区新丹谷地区、清水区庵原地区）を見学し、大区画かつ平坦な樹園地になったことで生産性が飛躍的に向上したこと等、効果について説明を受けました。

次に、地域活性化策に取り組む農村（美しく品格のある邑「清水区西里地区」）を訪れ、美しい原風景の保全や都市との交流を促進するための県の支援などについて説明を受けました。

さらに、若手職員との座談会を通じて、農業土木の役割や仕事の醍醐味を体感していただきました。

今後も、農業土木職員の人材確保に向けて、取り組んでまいります。

農地局農地計画課 054-221-2723

農業農村整備優良地区コンクール審査員による
大臣賞受賞地区視察

農地局

9月27日（水）、NNコンクールの審査員5名が同コンクール農林水産大臣賞を過去に受賞した2地区を視察しました。

本視察は、受賞となった活動が現在までどのように維持・向上されているのか調査し、今後の同コンクールの実施に当たっての参考とすることを目的としています。

【遠州南部地区（H20年度受賞）】

とうもんの里総合案内所は、地域住民の活動拠点となるとともに多様なプログラムを通じて農業の大切さや地域農村文化を伝え、都市と農村の交流を推進しています。



とうもんの里総合案内所

【三ヶ日地区（H30年度受賞）】

三ヶ日地区は、基盤整備によって道路や区画が整備され、ほ場に給水栓が設置されたのをきっかけにスピードスプレーヤの導入が加速し、後継者の確保も進んでいます。



三ヶ日地区

2地区ともに、受賞後も更なる発展を遂げており、今後も県として支援してまいります。

農地局農地計画課 054-221-2723

東部

東部地域で農業農村整備OJT現場研修を実施



畑地帯総合整備（担い手育成）浮島北部地区の現場にて、東部・富士農林事務所合同OJT研修を行いました。

浮島北部地区は令和4年度に事業採択され、本年度から茶園整備の現場工事を着手しています。

今回は、茶木の伐採から処理までの流れについて説明し、伐採作業を見学しました。

本現場は耕作放棄されており、バックホウに伐採用のアタッチメントを取り付けて茶木を粉碎しながら伐採します（～20cm程度）。伐採後は、耕作土にすきこんでいきます。

参加者は施工機械を入念に観察し、施工や事業の進め方等について情報共有や意見交換を行いました。

これからも、事務所間で情報共有を図りながら、本県の農業農村整備を進めていきます。

東部農林事務所農地整備課 055-920-2166

志榛

農業用機械設備の状態監視研究に協力しています！

焼津市藤守にある藤守排水機場は、大雨時の地域水田の湛水被害を軽減させる昭和50年に設置された排水機場ですが、設置後40年以上経過し老朽化が著しいため、令和3年度から基幹水利施設ストックマネジメント事業により機器整備、更新を実施しています。

9月20日（水）、21日（木）に工事で撤去する機器を利用して、農林水産省官民連携新技術研究開発事業の状態監視技術開発（国立研究開発法人 農研機構、トライボテックス(株)）に協力して、農業用排水ポンプの過酷特性試験を行いました。

過酷特性試験は、運転中に潤滑油を抜いていき、重故障の前兆を捉えるものであり、今年度から、静岡県、広島県及び愛知県で順次実施される計画で、今回はその初回試験を無事に行うことができました。



志太榛原農林事務所牧の原用水課 054-644-9213

牧之原茶園の再編整備プラン推進協議会で 切山、諏訪原地区を紹介

志榛



9月19日（火）、島田市の茶の都ミュージアムで、牧之原茶園の再編整備プラン推進協議会幹事会が開催され、現地視察として会場の近隣で茶園区画整理工事実施中の切山、諏訪原地区の紹介をしました。

切山地区では3次元点群データを利用したICT施工を実施しており、会場でその活用状況を説明した後、諏訪原地区の現場へ移動して工事の状況について説明しました。



両地区とも工事を2期に分け、今年度から工事を始めており、切山地区は3.8ha、諏訪原地区は2.4haの整地工を行っています。

来年の3月には茶樹の定植作業ができるよう、関係者と調整しながら工事を進めてまいります。

志太榛原農林事務所牧の原用水課 054-644-9213

浜松市北区引佐町で県立農林環境専門職大学 農山村デザイン演習を実施

西部

9月11日（月）～13日（水）、15日（金）の4日間、浜松市北区引佐町で、県立農林環境専門職大学の農山村デザイン演習を行いました。

本演習では、果樹・花き・いちご・お茶の生産に関心を持つ学生が、農山村地域で地域住民や関係機関との交流を通して、地域の現状や課題への理解を深め、地域とともに課題解決方法を考える力の習得を図ります。

対象地域での受入れは2年目で、今年は学生6名、教員、地域の代表者（観光協会・農家）、浜松市、西部農林事務所農村整備課、(株)フジヤマが参加しました。

学生は、都田川ダムやイチゴ・畜産農家等の見学及び白檀の棚田でドローンの操作体験等を行いました。

学生からは、今回の演習を通して農村環境の整備の大変さ、棚田の美しさ、県・市の事業や人と人の繋がりの大切さを知ることができたと感想をいただきました。



西部農林事務所農村整備課 053-458-7225